

平成27年度  
赤谷森林ふれあい推進センター  
活動報告

資 料 編



## 平成27年度 赤谷森林ふれあい推進センターのイベント等実績表

## 【未就学児・小・中学生を対象とした森林環境教育】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.5.13	水	蘇我中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	蘇我中学校	12		
H27.6.5	金	山王中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	山王中学校	184		
H27.6.13	土	朝日ヶ丘中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	朝日ヶ丘中学校	19		
H27.6.19	金	椿森中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	椿森中学校	20		
H27.7.22	水	新治小学校 サマースクール	森の体験ウォークラリー・ほか	高原千葉村	新治小学校	31		
H27.8.1	土	デザートキッズスポーツ教室	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	デザート・みなかみ町	39		
H27.9.15	火	生浜中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	生浜中学校	25		
H27.10.3	火	新治小学校 遠足	旧三国街道の遠足	旧三国街道	新治小学校	43		
H27.10.7	水	沼田北小学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	沼田北小学校	54		
H27.11.8	日	森のようちえん(雨のため屋内)	クラフト、ほか	さる小	もりのようちえん	25		
H27.11.18	水	新治こども教室	森の話・クラフト	新治小学校	新治こども教室	64		
H27.11.24	火	稲浜中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	稲浜中学校	72		
H27.12.3	水	新治小学校 旧三国街道遠足事後学習	10/3遠足の振り返り、動物調査	新治小学校	新治小学校	43		
H28.2.8	月	北っこくらぶ 放課後こども教室	森の話・クラフト	月夜野小学校	北っこくらぶ	30		
H28.3.25	金	放課後こども教室 藤原小学校	森の話・クラフト	藤原小学校	放課後こども教室	6		
					計	667		

## 【大学生・一般の方を対象とした森林環境教育】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.5.16-17	土日	放送大学面接授業	赤谷プロジェクトの内容及意義(講義:藤澤所長) 赤谷源流の豊かな自然を観察し、わが国の水源と生物多様性を考える(講師:長嶋成和、アシスタント:赤谷センター職員)	沼田市立図書館 小出俣林道ほか	放送大学群馬学習センター	16		
H27.8.26	水	生物多様性保全研修:理論編(森林総合研修所)	「生物多様性の復元と持続可能な地域作りを目指して」をテーマに赤谷プロジェクトの取組	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所	16		
H27.10.15	木	群馬県立農林大学校 森林管理実習	森林管理学習Ⅱ「生物多様性に向けた取組」	赤谷プロジェクトエリア	群馬県立農林大学校	15		
H27.10.26	月	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	講義:赤谷プロジェクトの取組(講師:藤澤所長) 「治山事業(茂倉沢)における溪流環境の生物多様性復元の取組(講師:関東森林管理局治山課長 岡本 雅人氏)」	利根沼田森林管理署 赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.10.27	火	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	「生物多様性保全のためのシカ被害調査と防除方法、森林衰退状況調査等(森林再生支援センター 専門委員 高田研一氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.10.28	水	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	「生物多様性の復元に向けた森林生態系管理(東京農工大学名誉教授 亀山章氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.10.29	木	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	「猛禽類の生息環境の向上に向けた森林生態系管理(講師:(公財)日本自然保護協会 出島誠一氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.10.30	金	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	グループ討議(講評)	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.11.9	月	綾プロジェクト(意見交換会)	イヌワシ試験地、小出俣自然林復元試験地を視察しての意見交換	イヌワシ試験地 小出俣自然林復元試験地	赤谷プロジェクト	4		
H27.11.11	水	環境省自然保護官等研修(所沢市)	「林野行政に見る地域協働～赤谷プロジェクトを例に～」	環境省環境調査研修所	環境省環境調査研修所	12		
H27.12.2	火	JICA ホンジュラス「ダム湖流域管理における市民参加と普及システム」コース	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)の取組	たくみの里ほか	JICA ホンジュラス	14		
H27.12.9	月	上智大学地球環境学研究所ゲスト講義	赤谷プロジェクト～いのちを未来へつなぐ～	上智大学四ツ谷キャンパス	上智大学大学院地球環境学研究所	11		
H27.12.15	火	信州大学人文学部「環境政策の社会学」講義	講義:環境政策の社会学(赤谷プロジェクトの取組)(講師:藤澤所長)	信州大学松本キャンパス	信州大学人文学部・赤谷センター	78		
					計	231		

## 【普及啓発活動(赤谷センターが協力したイベント等)】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.4.11	土	あかぎ南ろく桜フェスタ	ネイチャークラフト体験(ヒノキの球果ストラップ)	国立赤城青少年交流の家	国立赤城青少年交流の家	80	776	
H27.4.29	水	敷島公園まつり	ネイチャークラフト体験(森のかげらすトラップ、ロケットリーフ)	群馬県前橋市 敷島公園	2015年敷島公園まつり実行委員会	271	26,000	
H27.5.1	金	JR上毛高原駅赤谷プロジェクトPRブースオープン	赤谷プロジェクトのPR、フォレスマイル外(5/1～5/31)	上毛高原駅内「みなかみ町展示場」	みなかみ町赤谷プロジェクト			
H27.5.1	日	春の森まつり サラダパーク沼田	ネイチャークラフト体験(森のかげらすトラップ、ロケットリーフ)	サラダパークぬまた	サラダパークぬまた	133		
H27.5.23	土	赤谷の森自然散策(第1回)	旧三国街道～春のかおりと紙芝居～	旧三国街道	赤谷センター みなかみ町	20		
H27.7.8	水	関東森林管理局 業務説明会	国有林・赤谷プロジェクトの説明、自然林復元の取組、ニホンジカと森林生態系管理における課題ほか	いきもの村、小出俣流域、たくみの里	関東森林管理局	6		
H27.7.27	月	第5回国際野生動物管理学会会議	会議のラウンドテーブル「シカと森林の持続的管理に向けて」の中で、赤谷プロジェクトの取組「ニホンジカの低密度管理」を紹介	北海道 札幌コンベンションセンター	日本哺乳類学会 米国野生動物学会			

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.8.27	土	猿ヶ京温泉赤谷湖上花火大会	ネイチャークラフト体験(森のかげらすトラップ、ヒノキの球果ストラップ、ロケットリーフ)	猿ヶ京温泉「まんてん星の湯」	猿ヶ京温泉まつり実行委員会	80	120	ブースの来場者数
H27.9.2	水	全国農村サミット2015inみなかみ町	赤谷プロジェクトのPR	みなかみ町カルチャーセンター	全国農村サミットinみなかみ町実行委員会		130	
H27.9.12 ～13	土	放送大学学習センター学園祭	赤谷プロジェクトのPR	放送大学群馬学習センター	学園祭実行委員会			
H27.9.25	土	綾プロジェクト10周年記念シンポジウム	赤谷プロジェクトの取組の紹介ほか	宮崎県綾町	綾野照葉樹林プロジェクト		200	
H27.9.30	水	関東森林管理局・国有林モニター会議	国有林における生物多様性の取組	たくみの里、小出俣流域	関東森林管理局	9		
H27.10.2	金	Cocoira(みなかみココイラ)	紙芝居「森と人とのつながり」、ネイチャークラフト体験(バードコール)	森の恵みと学びの家 たくみの里	赤谷センター 森の恵みと学びの家	5		
H27.10.24	土	赤谷の森自然散策	旧三国街道～ここで感じる秋～	旧三国街道	赤谷センター みなかみ町	15		
H27.11.3	火	環境と森と木のまつり	ネイチャークラフト(森のかげらすトラップ)	月夜野 矢瀬親水公園	群馬県 利根沼田環境 森林事務所	64		
H27.11.8	日	赤谷の森まつり	赤谷プロジェクトのRP、ネイチャークラフト、特別講演、報告会	泊まれる学校「さる小」	赤谷プロジェクト	100		
H27.12.6	日	ごったくまつり・ボランティアフェスタ沼田	ネイチャークラフト(ヒノキの球果ストラップ)、フォレスマイル、どんぐり転がし、森のつみ木	沼田市保健福祉センター	沼田市ボランティア連絡協 議会、ごったくまつり実行委 員会	71	1,500	
H27.12.19	土	akayaカフェ～1杯の珈琲から考える持続可能な暮らし～	メキシコの森林農法から考える持続可能な暮らし、ワークショップ、カスタネットの取組、赤谷プロジェクトの取組	森の恵みと学びの家 たくみの里	赤谷プロジェクト地域協 議会	26		
H27.12.25	金	「森の恵み」を使ったクラフト体験	ネイチャークラフト(ヒノキの球果ストラップ、森のかげらすトラップ、ロケットリーフ)ロケットリーフ大会	高原千葉村	高原千葉村	42		
H28.2.11	木祝	赤谷の森自然散策	～冬の自然散策と紙芝居～	泊まれる学校「さる小」、 いきもの村、民話と紙芝 居の家	赤谷センター みなかみ町	40		
H28.2.18 ～19	木 金	平成27年度関東森林管理局・林業技術交流発表会	・ニホンジカ被害の「未然防止型対策」の検討と実践 第2報 ・地域とつながる国有林～赤谷プロジェクトの取組から考える～	関東森林管理局	関東森林管理局	47		
H28.3.19	土	ユネスコエコパークイベント 水上の自然と暮らしを考えてみよう!	赤谷プロジェクトのRP、ネイチャークラフト、特別講演、みなかみ町内6校の 額中発表	みなかみ町カルチャーセ ンター	みなかみ町			
					計	1,385	28,726	

## 【視察等】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.5.21	木	(財)日本森林林業振興会グリーンサークル視察	赤谷プロジェクトの視察(自然林復元の取組ほか)	小出俣自然林復元試験 地	(財)日本森林林業振興 会グリーンサークル	26		
H27.8.29	土	NPO法人 森びとプロジェクト委員会	赤谷プロジェクトの視察(自然林復元の取組ほか)	小出俣自然林復元試験 地	NPO法人 森びとプロ ジェクト委員会	30		
H27.10.23		水沢森人の会	赤谷プロジェクトの視察(自然林復元の取組ほか)	小出俣自然林復元試験 地	水沢森人の会	6		
					計	62		

## 【その他】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.11.29	土	イヌワン観察会	新治小学校5, 6年生を対象に観察会	赤谷側流域	赤谷プロジェクト	7		
					計	7		

## 【赤谷の日】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.4.4	土	赤谷の日	・いきもの村環境整備(里山整備の検討・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の状況確認)	赤谷の森全域	赤谷センター	8		
H27.5.9	土	赤谷の日	・いきもの村環境整備(里山整備・南ヶ谷湿地検討会)	赤谷の森全域	地域協議会	17		
H27.6.6	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・南ヶ谷湿地の保全活動・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	NACS-J	15		
H27.7.4	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の保全活動・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	赤谷センター	17		
H27.8.1	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・初回案内・南ヶ谷湿地の保全・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	地域協議会	26		
H27.9.5	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・駐車場整備・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の保全・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	NACS-J	11		
H27.10.3	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の保全活動・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	地域協議会	14		
H27.11.7	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・里山環境整備・南ヶ谷湿地の保全)赤谷の森まつり準備	赤谷の森全域	赤谷センター	8		
H27.12.5	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・薪割り・里山環境整備・ホンドテンモニタリング調査)・ニホンジカ調査視察	赤谷の森全域	赤谷センター	13		
H28.3.5	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・ニセアカシヤ除去・水生生物の生息環境保全・薪の整理)キツネ穴周辺の動物生息調査準備・2015年度活動報告	赤谷の森全域	赤谷センター	12		
					計	141		

## 平成27年度 赤谷森林ふれあい推進センターのイベント等実績表

## 【未就学児・小・中学生を対象とした森林環境教育】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.5.13	水	蘇我中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	蘇我中学校	12		
H27.6.5	金	山王中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	山王中学校	184		
H27.6.13	土	朝日ヶ丘中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	朝日ヶ丘中学校	19		
H27.6.19	金	椿森中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	椿森中学校	20		
H27.7.22	水	新治小学校 サマースクール	森の体験ウォークラリー・ほか	高原千葉村	新治小学校	31		
H27.8.1	土	デザートキッズスポーツ教室	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	デザート・みなかみ町	39		
H27.9.15	火	生浜中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	生浜中学校	25		
H27.10.3	火	新治小学校 遠足	旧三国街道の遠足	旧三国街道	新治小学校	43		
H27.10.7	水	沼田北小学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	沼田北小学校	54		
H27.11.8	日	森のようちえん(雨のため屋内)	クラフト、ほか	さる小	もりのようちえん	25		
H27.11.18	水	新治こども教室	森の話・クラフト	新治小学校	新治こども教室	64		
H27.11.24	火	稲浜中学校 体験学習	森の体験ウォークラリー	高原千葉村	稲浜中学校	72		
H27.12.3	水	新治小学校 旧三国街道遠足事後学習	10/3遠足の振り返り、動物調査	新治小学校	新治小学校	43		
H28.2.8	月	北っこくらぶ 放課後こども教室	森の話・クラフト	月夜野小学校	北っこくらぶ	30		
H28.3.25	金	放課後こども教室 藤原小学校	森の話・クラフト	藤原小学校	放課後こども教室	6		
					計	667		

## 【大学生・一般の方を対象とした森林環境教育】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.5.16-17	土日	放送大学面接授業	赤谷プロジェクトの内容及意義(講義:藤澤所長) 赤谷源流の豊かな自然を観察し、わが国の水源と生物多様性を考える(講師:長嶋成和、アシスタント:赤谷センター職員)	沼田市立図書館 小出俣林道ほか	放送大学群馬学習センター	16		
H27.8.26	水	生物多様性保全研修:理論編(森林総合研修所)	「生物多様性の復元と持続可能な地域作りを目指して」をテーマに赤谷プロジェクトの取組	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所	16		
H27.10.15	木	群馬県立農林大学校 森林管理実習	森林管理学習Ⅱ「生物多様性に向けた取組」	赤谷プロジェクトエリア	群馬県立農林大学校	15		
H27.10.26	月	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	講義:赤谷プロジェクトの取組(講師:藤澤所長) 「治山事業(茂倉沢)における溪流環境の生物多様性復元の取組(講師:関東森林管理局治山課長 岡本 雅人氏)」	利根沼田森林管理署 赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.10.27	火	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	「生物多様性保全のためのシカ被害調査と防除方法、森林衰退状況調査等(森林再生支援センター 専門委員 高田研一氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.10.28	水	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	「生物多様性の復元に向けた森林生態系管理(東京農工大学名誉教授 亀山章氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.10.29	木	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	「猛禽類の生息環境の向上に向けた森林生態系管理(講師:(公財)日本自然保護協会 出島誠一氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.10.30	金	林野庁生物多様性保全研修(実習編)	グループ討議(講評)	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所	13		
H27.11.9	月	綾プロジェクト(意見交換会)	イヌワシ試験地、小出俣自然林復元試験地を視察しての意見交換	イヌワシ試験地 小出俣自然林復元試験地	赤谷プロジェクト	4		
H27.11.11	水	環境省自然保護官等研修(所沢市)	「林野行政に見る地域協働～赤谷プロジェクトを例に～」	環境省環境調査研修所	環境省環境調査研修所	12		
H27.12.2	火	JICA ホンジュラス「ダム湖流域管理における市民参加と普及システム」コース	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)の取組	たくみの里ほか	JICA ホンジュラス	14		
H27.12.9	月	上智大学地球環境学研究所ゲスト講義	赤谷プロジェクト～いのちを未来へつなぐ～	上智大学四ツ谷キャンパス	上智大学大学院地球環境学研究所	11		
H27.12.15	火	信州大学人文学部「環境政策の社会学」講義	講義:環境政策の社会学(赤谷プロジェクトの取組)(講師:藤澤所長)	信州大学松本キャンパス	信州大学人文学部・赤谷センター	78		
					計	231		

## 【普及啓発活動(赤谷センターが協力したイベント等)】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.4.11	土	あかぎ南ろく桜フェスタ	ネイチャークラフト体験(ヒノキの球果ストラップ)	国立赤城青少年交流の家	国立赤城青少年交流の家	80	776	
H27.4.29	水	敷島公園まつり	ネイチャークラフト体験(森のかげらすトラップ、ロケットリーフ)	群馬県前橋市 敷島公園	2015年敷島公園まつり実行委員会	271	26,000	
H27.5.1	金	JR上毛高原駅赤谷プロジェクトPRブースオープン	赤谷プロジェクトのPR、フォレスマイル外(5/1～5/31)	上毛高原駅内「みなかみ町展示場」	みなかみ町赤谷プロジェクト			
H27.5.1	日	春の森まつり サラダパーク沼田	ネイチャークラフト体験(森のかげらすトラップ、ロケットリーフ)	サラダパークぬまた	サラダパークぬまた	133		
H27.5.23	土	赤谷の森自然散策(第1回)	旧三国街道～春のかおりと紙芝居～	旧三国街道	赤谷センター みなかみ町	20		
H27.7.8	水	関東森林管理局 業務説明会	国有林・赤谷プロジェクトの説明、自然林復元の取組、ニホンジカと森林生態系管理における課題ほか	いきもの村、小出俣流域、たくみの里	関東森林管理局	6		
H27.7.27	月	第5回国際野生動物管理学会会議	会議のラウンドテーブル「シカと森林の持続的管理に向けて」の中で、赤谷プロジェクトの取組「ニホンジカの低密度管理」を紹介	北海道 札幌コンベンションセンター	日本哺乳類学会 米国野生動物学会			

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.8.27	土	猿ヶ京温泉赤谷湖上花火大会	ネイチャークラフト体験(森のかげらすトラップ、ヒノキの球果ストラップ、ロケットリーフ)	猿ヶ京温泉「まんてん星の湯」	猿ヶ京温泉まつり実行委員会	80	120	ブースの来場者数
H27.9.2	水	全国農村サミット2015inみなかみ町	赤谷プロジェクトのPR	みなかみ町カルチャーセンター	全国農村サミットinみなかみ町実行委員会		130	
H27.9.12 ～13	土	放送大学学習センター学園祭	赤谷プロジェクトのPR	放送大学群馬学習センター	学園祭実行委員会			
H27.9.25	土	綾プロジェクト10周年記念シンポジウム	赤谷プロジェクトの取組の紹介ほか	宮崎県綾町	綾野照葉樹林プロジェクト		200	
H27.9.30	水	関東森林管理局・国有林モニター会議	国有林における生物多様性の取組	たくみの里、小出俣流域	関東森林管理局	9		
H27.10.2	金	Cocoira(みなかみココイラ)	紙芝居「森と人とのつながり」、ネイチャークラフト体験(バードコール)	森の恵みと学びの家 たくみの里	赤谷センター 森の恵みと学びの家	5		
H27.10.24	土	赤谷の森自然散策	旧三国街道～ここで感じる秋～	旧三国街道	赤谷センター みなかみ町	15		
H27.11.3	火	環境と森と木のまつり	ネイチャークラフト(森のかげらすトラップ)	月夜野 矢瀬親水公園	群馬県 利根沼田環境 森林事務所	64		
H27.11.8	日	赤谷の森まつり	赤谷プロジェクトのRP、ネイチャークラフト、特別講演、報告会	泊まれる学校「さる小」	赤谷プロジェクト	100		
H27.12.6	日	ごったくまつり・ボランティアフェスタ沼田	ネイチャークラフト(ヒノキの球果ストラップ)、フォレスマイル、どんぐり転がし、森のつみ木	沼田市保健福祉センター	沼田市ボランティア連絡協 議会、ごったくまつり実行委 員会	71	1,500	
H27.12.19	土	akayaカフェ～1杯の珈琲から考える持続可能な暮らし～	メキシコの森林農法から考える持続可能な暮らし、ワークショップ、カスタネットの取組、赤谷プロジェクトの取組	森の恵みと学びの家 たくみの里	赤谷プロジェクト地域協 議会	26		
H27.12.25	金	「森の恵み」を使ったクラフト体験	ネイチャークラフト(ヒノキの球果ストラップ、森のかげらすトラップ、ロケットリーフ)ロケットリーフ大会	高原千葉村	高原千葉村	42		
H28.2.11	木祝	赤谷の森自然散策	～冬の自然散策と紙芝居～	泊まれる学校「さる小」、 いきもの村、民話と紙芝 居の家	赤谷センター みなかみ町	40		
H28.2.18 ～19	木 金	平成27年度関東森林管理局・林業技術交流発表会	・ニホンジカ被害の「未然防止型対策」の検討と実践 第2報 ・地域とつながる国有林～赤谷プロジェクトの取組から考える～	関東森林管理局	関東森林管理局	47		
H28.3.19	土	ユネスコエコパークイベント 水上の自然と暮らしを考えてみよう!	赤谷プロジェクトのRP、ネイチャークラフト、特別講演、みなかみ町内6校の 額中発表	みなかみ町カルチャーセ ンター	みなかみ町			
					計	1,385	28,726	

## 【視察等】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.5.21	木	(財)日本森林林業振興会グリーンサークル視察	赤谷プロジェクトの視察(自然林復元の取組ほか)	小出俣自然林復元試験 地	(財)日本森林林業振興 会グリーンサークル	26		
H27.8.29	土	NPO法人 森びとプロジェクト委員会	赤谷プロジェクトの視察(自然林復元の取組ほか)	小出俣自然林復元試験 地	NPO法人 森びとプロ ジェクト委員会	30		
H27.10.23		水沢森人の会	赤谷プロジェクトの視察(自然林復元の取組ほか)	小出俣自然林復元試験 地	水沢森人の会	6		
					計	62		

## 【その他】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.11.29	土	イヌワン観察会	新治小学校5, 6年生を対象に観察会	赤谷側流域	赤谷プロジェクト	7		
					計	7		

## 【赤谷の日】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H27.4.4	土	赤谷の日	・いきもの村環境整備(里山整備の検討・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の状況確認)	赤谷の森全域	赤谷センター	8		
H27.5.9	土	赤谷の日	・いきもの村環境整備(里山整備・南ヶ谷湿地検討会)	赤谷の森全域	地域協議会	17		
H27.6.6	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・南ヶ谷湿地の保全活動・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	NACS-J	15		
H27.7.4	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の保全活動・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	赤谷センター	17		
H27.8.1	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・初回案内・南ヶ谷湿地の保全・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	地域協議会	26		
H27.9.5	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・駐車場整備・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の保全・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	NACS-J	11		
H27.10.3	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(里山環境整備・歩道整備・水生生物の生息環境保全・南ヶ谷湿地の保全活動・ホンドテンモニタリング調査)	赤谷の森全域	地域協議会	14		
H27.11.7	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・里山環境整備・南ヶ谷湿地の保全)赤谷の森まつり準備	赤谷の森全域	赤谷センター	8		
H27.12.5	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・薪割り・里山環境整備・ホンドテンモニタリング調査)・ニホンジカ調査視察	赤谷の森全域	赤谷センター	13		
H28.3.5	土	赤谷の日	いきもの村環境整備(・ニセアカシヤ除去・水生生物の生息環境保全・薪の整理)キツネ穴周辺の動物生息調査準備・2015年度活動報告	赤谷の森全域	赤谷センター	12		
					計	141		

## 赤谷の日活動状況調査表

平成27年度末

年度	サポーター 登録者数	参加者数							開催 延べ日数	サ月平均 参加者数	全月平均 参加者数	主な出来事	主な活動内容	イベント等
		サポーター	地域協会	赤セ	NACS-J	林野職員	その他	計						
H17		310	66	74	38	40	58	586	20	16	29	・いきもの村施設利用ルール作成	炭窯、テンモニ、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷プロジェクト「いきもの村」お披露目 赤谷の炭焼きを語る会(6月) きのご調査隊(群馬県きのご同好会) (10月)※1、2月中止
H18		282	58	40	52	8	18	458	22	13	21	・サポーター制度要項作成 ・カラマツ漸伐試験地設置	炭窯、テンモニ、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	猛禽類フィールドワーク研修会(7月)、 ホンデンモニタリング研修(8月)、※1月中止
H19	44	264	28	30	51	6	6	385	22	12	18	・「2号治山ダム」の撤去を決定 ・サポーター登録制度開始	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	地域の伝統文化を学ぶ(伐採搬出)(4月)、※3月中止
H20	48	293	42	29	49	0	2	415	22	13	19	・環境教育・関東ミーティング2008AKAYA	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷の日講座(山梨森総研:長池)(6月)、赤谷自然文化車座座談会(8~3月)、※1月中止
H21	49	346	57	57	64	1	47	572	24	14	24	・「2号治山ダム」の撤去工事完了	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷自然文化車座座談会(4~3月)
H22	49	359	59	67	59	2	12	558	23	16	24	・赤谷の森管理経営計画書完成(H23年度~H27年度)	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷自然文化車座座談会(4月) そば打ち(7月)、ヤマビル調査(4~12月)、※1月中止
H23	48	245	38	66	33	9	12	403	22	11	18	・第2期赤谷プロジェクト協定締結 ・南ヶ谷湿地保全管理計画書2011作成	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	南ヶ谷・テンモニ・豊凶調査、※4月中止(地震の影響のため)
H24	51	162	51	32	44	2	31	322	25	6	13	・赤セにおける赤谷プロジェクト広報戦略作成 ・たくみの里赤谷プロジェクトPRブースオープン	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	人工林管理を学ぶ(9月) 赤谷の日改良意見交換(2月)
H25	65	78	19	20	15	3	3	138	8	10	17	・新赤谷の日開始(毎月土曜日) ・赤谷プロジェクト10周年記念シンポジウム ・サポーター要項改訂 ・ニホンジカ検討チーム設置	・間伐影響調査、テンモニ、小出侯試験地調査、分育地ニホンジカ調査等	・赤谷の日祭り(8月) ※4月、1~3月は、中止・休止
H26	73	76	21	27	18	3	27	172	9	8	19	・いきもの村将来像への向けての作業始まる ・イヌワシ試験地設定 ・森と恵みと学びの家プレオープン	・いきもの村将来像 歩道整備、里山整備、水生昆虫、蝶調査、環境整備等	※ 1月、2月は、休止
H27	82	74	18	24	14	0	11	141	10	7	14	・イヌワシ狩り場創出試験地伐採 ・ニホンジカの餌による誘因試験を開始 ・たくみの里に「森の恵みと学びの家」オープン	いきもの村環境整備(歩道整備、里山整備、水生昆虫)、テンモニ、南ヶ谷湿地調査等	※ 1月、2月は、休止
計		2,489	457	466	437	74	227	4,150	207	12	20			

※ 参加者数は、1日及び半日参加などでも一人としてカウント  
 ※ 参加者数は、赤谷の日活動ペーパーに記載のあった名前をカウント  
 ※ 活動項目は、赤谷の日活動ペーパーから主だった活動を選定  
 ※ 平成24年度からは、赤セの赤谷の日活動報告書に記載された人数をカウント

※ H25年度からは、赤谷の日の活動日は、一日(H24年度までは、二日)  
 ※ サポーター登録数は、総合事務局(NACS-J)聞き取り  
 ※ 備考欄は、イベント等で、その年度の特徴的な取組を記載

## 赤谷プロジェクトに関する調査報告書等

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	緑の回廊モニタリング調査 赤谷プロジェクト自然環境モニタリング基本方針	(財)日本自然保護協会	
平成17年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究	(財)日本自然保護協会	
平成18年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究	(財)日本自然保護協会	
年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	自然再生推進モデル事業報告書 赤谷プロジェクト自然環境モニタリング予備調査	(財)日本自然保護協会	
平成17年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 体制整備と試行開始	(財)日本自然保護協会	
平成18年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 活動成果蓄積システムの構築	(財)日本自然保護協会	
平成19年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)	(財)日本自然保護協会	
平成20年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成21年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成22年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成23年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成24年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成25年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成26年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成27年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成17年度	新治地区茂倉沢治山事業全体計画作成調査 調査報告書(平成18年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成20年度	平成20年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成21年3月)(調査計画編)	国土防災技術(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成22年3月)	応用地質(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成22年3月) 別冊(委員会議事録)	応用地質(株)	
平成22年度	平成22年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成23年3月) 報告書	応用地質(株)	
平成23年度	平成23年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成24年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成24年度	平成24年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成25年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成25年度	平成25年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成26年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	
平成26年度	平成26年度 茂倉沢溪流環境モニタリング調査(平成27年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	
平成27年度	平成27年度 茂倉沢溪流環境モニタリング調査(平成28年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成5年度	三国高原猿ヶ京森林空間総合利用整備事業に係る森林施業等への影響調査報告書(平成5年6月)	(株) コクド (社) 日本林業技術協会	
平成19年度	溪流生態系の保全に資する治山事業のモデル的实施について		関東森林管理局 作成
平成22年度	赤谷プロジェクト 赤谷の森・基本構想(2010年3月) ～生物多様性と社会の持続のために、森のあるべき姿をとりもどす～		赤谷プロジェクト 作成
平成23年度	平成23年度 赤谷プロジェクトエリア内の歩道調査事業報告書	藤緑化技研	
平成23年度	南ヶ谷湿地保全管理計画 2011		赤谷プロジェクト 作成
平成26年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2014年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成27年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2015年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成

## 赤谷森林ふれあい推進センター活動報告書(年報)

年度	報告書タイトル	作成者	備考
平成18年度	平成18年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成19年度	平成19年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成20年度	平成20年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成21年度	平成21年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫27冊
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載(PDF版)
平成22年度	平成22年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成23年度	平成23年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成24年度	平成24年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
	※ 構成変更(より見やすく、資料編を追加)		HP掲載(PDF版)
平成25年度	平成25年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成26年度	平成26年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成27年度	平成27年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)

## 関東森林管理局広報誌への掲載記事一覧表

号	年	月	掲載タイトル	内 容
1	16	4	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(通称「赤谷プロジェクト」)がスタート	・赤谷プロジェクトの取組の説明(森林施業等・動植物のモニタリング調査・森林環境教育等)
6	16	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2004年度第1回企画運営会議・活動拠点の整備を開始・地域説明会の開催
7	16	10	赤谷プロジェクト近況報告(第2弾)	・植生WG第1回会合を開催・写真コラム「赤谷の森から」の連載スタート!
8	16	11	赤谷プロジェクト近況報告(第3弾)	・「いきもの村」での活動本格化!・「自然観察指導員に学ぶ」
9	16	12	赤谷プロジェクト近況報告	・11月の「いきもの村」・モニタリング検討委員会現地調査を実施・研究者グループ「赤谷の日」を視察
10	17	1	赤谷プロジェクト近況報告	・12月の「赤谷の日」・全国森林環境保全ふれあいセンター担当者、「赤谷の森」に集合
11	17	2	赤谷プロジェクト近況報告	・新春の「赤谷の日」・「いきもの村」での活動成果
12	17	3	猛禽類との共生を目指す取組 ～生物多様性の保全に向けて～	・指針作成に向けた調査と知見の蓄積・希少野生動植物の生息・生育を守るための委員会の設置・研究機関、自然保護団体等との連携
			赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(サポーターの獲得・2月の「赤谷の日」・「環境教育ミーティング」への参画
13	17	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(合意形成手法の確立・猛禽類などの生態の把握・研究者の関心の獲得)・3月の「赤谷の日」・2004年度第2回企画運営会議を開催・写真コラム「赤谷の森から」連載終了
14	17	5	赤谷プロジェクト近況報告	・平成17年度のプロジェクトエリア内における森林施業予定地で現地検討会を開催・4月の「赤谷の日」
15	17	6	赤谷プロジェクト近況報告	・春を迎えた「赤谷の森」・いきもの村のお披露目会の開催
16	17	7	赤谷プロジェクト近況報告	・小学生が体験した環境教育・中学生が体験した環境教育
17	17	8	赤谷プロジェクト近況報告	・様々な調査活動が本格化!・赤谷の日(テン糞隊)
18	17	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2005年度・前期企画運営会議を開催・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
19	17	10	森の価値を伝えて広めている、新しい動き～ 企業のCSR活動との連動～(NACS-J)	・CSRと生物多様性保全・現在の日本企業の認識・赤谷プロジェクトにおけるCSR・生物多様性保全をめざしたCSR活動と国有林
			赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類モニタリングWG 2005年度第1回会合の開催
20	17	11	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業全体計画調査
21	17	12	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの相乗効果・高校生が「いきもの村」に
25	18	4	赤谷プロジェクト2005年度・後期 企画運営会議を開催	・後期 企画運営会議を開催
			赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市の中学校教員が「いきもの村」で環境教育の模擬体験
27	18	6	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」での炭焼きを紹介
28	18	7	赤谷プロジェクト近況報告	・「自然環境モニタリング会議・植生WG合同現地視察」を開催・6月の「赤谷の日」
29	18	8	赤谷プロジェクト近況報告	・高校生への環境教育・植生WGによるプロット調査の実施
30	18	9	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
31	18	10	赤谷プロジェクト近況報告	・平成18年 第1回企画運営会議を開催・小中学生への環境教育の実施
32	18	11	赤谷プロジェクト近況報告	・植生調査について

号	年	月	掲載タイトル	内 容
33	18	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」の自然散策会を開催・赤谷プロジェクトを多くの方々に見て頂きました
34	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・第2回溪流環境復元WGが開催されました・林野庁業務研究発表で発表してきました
35	19	2	赤谷プロジェクト近況報告	・地域の方々との猛禽類調査
36	19	3	赤谷プロジェクト近況報告	・梶谷国有林野部長の視察がありました・関東森林管理局業務研究発表会で発表してきました
37	19	4	赤谷プロジェクト19年度の取組み	・プロジェクトの枠組み・具体的な活動
38	19	5	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」にモリゾーキッコロがやってきた・さわやか自然百景・お知らせ(自然散策)
39	19	6	赤谷プロジェクト近況報告	・溪流環境復元WG
40	19	7	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森の自然散策を実施・「赤谷の森」で森林ふれあい実務研修を開催
41	19	8	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回 赤谷の森フォーラム」を開催・植生WG、溪流環境復元WGの現地検討会を開催・利根実業高校生に対する環境教育を実施
42	19	9	赤谷プロジェクト近況報告	・ムササビの生活・ムササビはプロジェクトの協力者
43	19	10	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回ムタコの日」が開催されました・千葉森林管理事務所との連携・森林生態系スペシャリスト養成研修の実施
44	19	11	赤谷プロジェクト近況報告	・企画運営会議の開催・日本イヌワシ研究会 合同調査への協力・地元小学生への環境教育
45	19	12	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷プロジェクトを支えるもう一つの力 サポーターの取組について・赤谷の森の自然散策について
46	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外研修「持続可能な森林経営の実践活動促進Ⅱ研修」・パナマ国別研修「保護区管理」コース研修・「アマゾン群馬の森」JICA草の根技術協力事業研修
47	20	2	赤谷プロジェクト近況報告	・なぜホンドテン？・ホンドテンのモニタリング調査
48	20	3	赤谷プロジェクト近況報告	・センサーカメラを活用した取組について・赤谷の森の自然散策(冬版)の開催について
49	20	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクト5年目の春が始まります・情報発信活動について(「赤谷の森だより」の発行・パンフレットの作成・マスメディアへの情報提供・HPの更新・「関東の森林から」の定期的な近況報告)
特集号	20	4	〈事例14-1～2〉赤谷プロジェクト	・赤谷プロジェクトの紹介と千葉森林管理事務所との連携した環境教育の取組などを掲載
50	20	5	赤谷プロジェクト近況報告	・モリゾーとキッコロが「赤谷の森林」にやってきた・4月の「赤谷の日」
51	20	6	赤谷プロジェクト近況報告	・(独)森林総合研究所による植生調査・「コリドー現地検討会2008in赤谷」の開催
52	20	7	赤谷プロジェクト近況報告	・放送大学面接授業・千葉市中学生への環境教育の実施
53	20	8	赤谷プロジェクト近況報告	・森林ふれあい実務研修の実施・ほ乳類モニタリングWGの開催・南ヶ谷湿地の調査
54	20	9	赤谷プロジェクト近況報告	・環境教育関東ミーティングについて・「第3回ムタコの日」の開催
55	20	10	赤谷プロジェクト近況報告	・林野庁長官赤谷プロジェクト視察・森林生態系スペシャリスト養成研修
56	20	11	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外技術研修生の受け入れ・環境教育ワーキンググループ会議の開催・平成20年度 第1回企画運営会議の開催
57	20	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」で自然散策・地元小学生に森林環境教育
58	21	1	赤谷プロジェクト近況報告	・「環境教育・関東ミーティング2008・AKAYA」の開催
59	21	2	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」の炭焼き・千葉森林管理事務所との連携・自然環境モニタリング会議の開催
60	21	3	赤谷プロジェクト近況報告	・「モリゾー・キッコロ『森へ行こうよ!』」の撮影・「ニッセイ緑の環境講座」で赤谷プロジェクトの取組を講義・猛禽類モニタリングワーキングの開催
61	21	4	赤谷プロジェクト近況報告	・自然環境モニタリング会議、企画運営会議の開催・環境教育への取組(新治小での環境教育の実施・「赤谷の森」自然散策会の開催・新治中の総合学習への協力・高原千葉村自然教室指導者講習会の開催)
62	21	5	赤谷プロジェクト近況報告	・養成研修専攻科(第48期)へ講義・「赤谷の日」の活動

号	年	月	掲載タイトル	内 容
63	21	6	赤谷プロジェクト近況報告	・水生昆虫談話会メンバーの来訪・放送大学の面接授業・新治中学校総合学習への協力
64	21	7	赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市中学校への環境教育の実施・「赤谷の森自然散策」の開催
65	21	8	赤谷プロジェクト近況報告	・ムタコ沢の水源かん養機能について・高校生への森林環境教育・植生管理の指針づくり
66	21	9	赤谷プロジェクト近況報告	・レッツ！サマースクールでの森林環境教育・「ムタコの日」で住民参加の森づくり
67	21	10	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業現地取材について・府中市緑の活動推進委員研修会・水生昆虫観察会の開催
68	21	11	赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類調査について・自然環境モニタリング会議の開催・JICA海外研修生の受け入れ
69	21	12	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA国別研修・インド環境森林省・茂倉沢治山事業・現地説明会の開催
70	22	1	赤谷プロジェクト近況報告	・南ヶ谷湿地の堆積物調査・企画運営会議の開催・「赤谷の森を語る会」の開催
71	22	2	赤谷プロジェクト近況報告	・1月の「赤谷の日」活動・植生管理ワーキンググループ
72	22	3	赤谷プロジェクト近況報告	・現代都市文化研究会の視察・「赤谷の森自然散策」を開催・環境教育ワーキンググループの取組
73	22	4	赤谷の森から	・地元小学校で環境教育・自然教室指導講習会を開催・第2回企画運営会議の開催
75	22	6	赤谷の森から	・4月の「赤谷の日」の活動・「ムタコの日」実行委員会の開催
77	22	8	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策を開催・地域の高校生への森林環境教育・植生管理ワーキンググループ現地検討会
79	22	10	赤谷の森から	・地域の小学生に森林環境教育・「ムタコの日」における森林整備活動
81	22	12	赤谷の森から	・森林生物多様性見学会・秋の自然散策
83	23	2	赤谷の森から	・ヤマビルの被害軽減に向け赤谷の森で落ち葉掃き・環境教育WGプログラム作成に向け現地検討階を実施
85	23	4	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第1回(プロジェクトの発足)[生物多様性の復元と持続的な地域づくり・協働三者のプロジェクトへの期待]
88	23	7	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第2回(プロジェクトの仕組)[主な取組の紹介(自然林回復試験)]
91	23	10	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第3回(主な取組)[溪流環境の復元(治山ダム中央部撤去)・猛禽類のモニタリング・赤谷の日・サポーター・環境教育・視察]
94	24	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第4回(赤谷の森管理経営計画書)[計画作成当初より協定3者が参加・生物多様性の保全と木材生産の両立を目指した森林の取り扱いを記載・順応的管理について明記]
97	24	4	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第1回(自然林復元試験地)[これまでの試験でわかったこと・新しい伐採試験地]
100	24	7	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第2回(イヌワシとクマタカ)[風の精 イヌワシ・森の精 クマタカ]
103	24	10	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第3回(ホンドテン)[テンの視点で森を見る・ボランティアで調査・今までに分かったこと]
106	25	1	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第4回(溪流環境復元WGの取組)[溪流環境とは・溪流環境の調査・溪流環境の調査を行って]
109	25	4	赤谷の森から	・「南ヶ谷湿地周辺の間伐を終えて」この湿地とその周辺の人工林の扱い(南ヶ谷湿地保全管理計画2011)について紹介
112	25	7	赤谷の森から	・「持続的な地域づくりに向けて」水源保全活動「ムタコの日」や「旧三国街道マップづくり」など様々な取組を紹介
115	25	10	赤谷の森から	・「ロケットリーフ」の様々な活用～大空高くロケットリーフで支援のWA!～ 環境教育教材の「空飛ぶタネの模型」を開発し、その取組みを紹介
118	26	1	赤谷の森から	・「市民参加のモニタリングで見てきた赤谷の森」ホンドテンモニタリングのその成果で見てきた赤谷の森を紹介
120	26	3	赤谷プロジェクト10周年シンポジウム	・平成26年3月9日東京農工大学において、日本各地で「地域づくり」に携わり活躍されている方々をゲストにお迎えし、開催したシンポジウムについて紹介
122	26	5	2014敷島公園まつり	・平成26年4月29日群馬県立敷島公園において行われた「2014敷島公園まつり」に、技術普及課とともに参加した様子を紹介
123	26	6	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトサポーターが中心となって進めてきた「ホンドテンモニタリング」の成果を活用する、環境教育教材の開発の検討状況を紹介

号	年	月	掲載タイトル	内 容
126	26	9	地域とつながる赤谷プロジェクト	・みなかみ町が地元の人に地元を好きになってもらうために行っている「みなかみコイラ」に、パートナーとして参画している地域とのつながりの一つを紹介
130	27	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの取組をわかりやすく伝えるために取り組んでいる「ふれあい活動」について、平成26年度の取組を紹介
138	27	12	赤谷の森から	・「関東森林管理局森林・林業技術交流発表会予告編」ニホンジカ誘引試験と地域とつながる国有林の取組について紹介
139	28	1	イヌワシの狩り場創出試験	・イヌワシが狩りをすることができる環境の創出試験の状況報告取組を紹介

## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第4号～13号)

番号	表紙		コラム		赤谷プロジェクト紹介				赤谷プロジェクトに望むこと		
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	分類	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等
4	赤谷の森の最高峰(仙ノ倉山)		晩秋の小出俣林道を歩く	林泉(地域協議会)	赤谷プロジェクト概要	赤P		赤セ	時間がないんだ 森林は・・・	岸 昌孝	NPO利根川上下流連携支援センター副事務局長
5	様々な歴史を刻む(小出俣エリア)		一本の木の生涯	中村隆史(赤セ)	大型猛禽類の調査を通じて	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	高等学校における環境教育	松井孝夫	群馬県立尾瀬高等学校自然環境課主任
6	ミズナラ、猛禽調査等		森を科学するとは	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷の森と植生管理の活動について	植生	亀山 章	赤谷プロジェクト自然再生モニタリング会議座長	アメリカ・カイバブ国有林におけるオオタカの研究と保全	遠藤孝一	日本オオタカネットワーク代表
7	冬の森林		五年目を迎える赤谷プロジェクト	岡村興太郎(地域協議会)	赤谷の森とホンドテン調査について	哺乳類 テン	足立高行	応用生態技術研究所所長	求められている環境教育	春田 隆	群馬県立利根実業高等学校 グリーンライフ科長教諭
8	下層に広葉樹が生育するカラマツ人工林		森林の取扱いの難しさ	藤江達之(関東森林管理局)	赤谷プロジェクト概要	赤P	茅野恒秀	日本自然保護協会			
9	炭窯・カヤ刈り		暮らしが物語る森と人間	茅野恒秀(日本自然保護協会)	AKAYAプロジェクトと環境教育	環境教育	横山隆一	日本自然保護協会 常勤理事			
10	雪景色		環境の時代における全国初の取り組み	河合明宣(地域協議会)	赤谷プロジェクトと地域づくりー旧三国街道の活用を通じてー	地域づくり	茅野恒秀・土屋俊幸	日本自然保護協会・自然環境モニタリング会議委員会			
11	新治小遠足		持続的な地域づくりに取り組んでいます	林 泉(地域協議会)	赤谷の森の溪流環境	溪流環境	相原慎二	赤セ	里山と人との関わりのこれからをみつめて	深津 加津枝	京都大学 准教授
12	仙ノ倉直下から赤谷を望む		三国街道でお宝探し	田中直哉(赤セ)	プロジェクトが発足してからわかったこと(赤谷の森のイヌワシ・クマタカ)	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	次世代を育む活動の必要性	利根川 太郎	みなかみ町立新治小学校長
13	茂倉沢治山ダム・ムタコの日・ムタコ沢水質調査		ともに歩むことの大切さ	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷地域の国有林の計画づくりに向けて	森林計画		関東森林管理局計画課	体験型環境教育との出会い	岡田千穂	みなかみ町立新治中学校教諭

## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第14号～22号)

番号	表紙		赤谷の森写真館		赤谷の森でわかったこと				赤谷プロジェクトに望むこと			テーマ	執筆者	所属等	
	テーマ	撮影者	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等				
14	クロサンショウウオ	竹村秀雄 星野理恵子	ブナ・モリアオガエル等	茅野恒秀 竹村秀雄 林 武 川端自人	木材、薪、炭、肥料・・・ 生活を支えていた赤谷の森	地域づくり	茅野恒秀	岩手県立大学 総合政策学部 講師	赤谷プロジェクトに望むこと	西田真哉	トヨタ白川 郷自然学校 校長	サポーター活動の紹介			
15	ムタコの日	安田剛士	立ち枯れたブナ・オコジョ等	茅野恒秀 出島誠一 竹村秀雄 前田 修	センサーカメラとテンモ二隊の活躍	哺乳類 テン	足立高行	応用生態技術 研究所 所長	赤谷プロジェクトに望むこと	藤江達之	森林総合研 究所				
16	ニホンカモシカ	青木邦夫	オオカメノキの冬芽・ウサギの足跡等	茅野恒秀 竹村秀雄 星野理恵子 小鮎 守 平井希一	自然の森の姿	植生	亀山 章	自然環境モニタリング会議 座長	赤谷プロジェクトに望むこと	江戸家猫八	動物ものまね 演芸家	テーマ	執筆者	所属等	
17	熊の親子		初夏の三国は、ツツジ街道	竹村秀雄 川端自人	新たな森づくり、スタート！ 「赤谷の森管理経営計画」	森林計画		関東森林管理 局計画課	赤谷プロジェクトに望むこと	清水英毅	森林塾青水 塾長	活動の紹介	藤田 卓	サポーター	
18	ムタコの日		美しいチョウたち	小林茂男 出島誠一 前田 修 藤田 卓	人工林を自然に戻してみようという試み	植生	塚田夢人	東京農工大学 森林生態学研 究室OB	自然は素晴らしい資源	施井真希子	みなかみ町 観光協会	ホンデン モニタリ ング調査	青木邦夫	サポーター	
19	初冬の三国山		『赤谷の森、樹木たちは今！』	平井希一 赤セ 和田晴美 福田耕二 竹村秀雄 小鮎 守	姉妹プロジェクト「綾の照葉樹林プロジェクト」について	その他	土屋俊幸	自然環境モニタリング会議委 員会	赤谷プロジェクトに望むこと	岸 良昌	みなかみ町 長	豊凶調査	豊凶調査 チーム	サポーター	
20	ブナの実生	竹村秀雄	『ハイキングコースで可憐な草花と出会う！』	越尾 武	「赤谷の森のコウモリ」	哺乳類 コウモリ	三笠暁子	コウモリの会事 務局	赤谷プロジェクトに望むこと	河合明宣	地域協議会	南ヶ谷湿地	竹村秀雄 和田晴美 前田 修	サポーター	
21	樹液を吸うカブトムシの♀	赤セ	カブトムシ採りの思い出	画像:赤セ 文:小池俊弘	スギの人工林を”自然に戻す”実験を始めました	植生	藤田 卓	日本自然保護 協会	人と自然が共生できる環境へ	阿部政英	高原千葉村	成功したヤマビル対策	坂口・星野	サポーター	
22	春を待つフキノトウ	松田大介	三国山・平標山の花々	林ふさ子	ニホンザルを調べてみたら	哺乳類 サル	安田 剛士	地域協議会	「畏敬の念と感謝」	小林友子	新治小学校 六年担任	オオムラサキの幼虫探し	前田 修 小林茂男 小鮎 守	サポーター	

## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第23号～28号)

番号	表紙:赤谷の森ミニ写真館		P2:赤谷の森でわかったこと		P3:トピックス			P4:活動トピックス	
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	執筆者	その他		
平成25年度	23	「赤谷川上流」 【H25.7.18 溪流調査時に撮影】	赤谷森林ふれあい推進センター	「打たれ強い水生昆虫」	愛知工業大学教授:内田 臣一	・赤谷プロジェクト地域協議会 新会長就任ご挨拶	赤谷プロジェクト地域協議会 会長 河合 進	・赤谷プロジェクトに関するイベント予定	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(4月～7月)
	24	「赤谷の森のきのこ(タマゴダケ)」	赤谷森林ふれあい推進センター	「赤谷の森でニホンジカが増えたらどうなるのか?」	東京農工大学教授:梶 光一	・赤谷プロジェクトに期待すること	関東森林管理局 計画保全部長 寺川 仁	・2013みなかみオンパク(ココイラ)にパートナーとして初参加! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関係者の異動交代等)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(8月～11月)
	25	「赤谷の森に春が来た!(春一番に咲く!マルバマンサク)」	青木邦夫 (赤谷プロジェクトサポーター)	「森の地面で暮らす飛べない昆虫たち」	宇津井環境調査事務所: 宇津井 守	・赤谷プロジェクトに期待すること	(公財)日本自然保護協会保全研究部部長 朱宮 文晴	・赤谷の森学校開校しました! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(平成25年度赤谷プロジェクト地域協議会総会)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(H25.11月～H26.3月)
平成26年度	26	「赤谷の森の彩(いろいろ)」	赤谷森林ふれあい推進センター	「利根川最上流部、赤谷エリアの溪流環境」	溪流環境ワーキンググループ座長・NACS-J参与・国土館大学:中井 達郎	地域と繋がる赤谷プロジェクト	泊まれる学校さる小 校長 飯島 健治	赤谷プロジェクト活動報告会(審判講演 東京大学准教授:蔵治 光一郎) ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関東森林管理局人事異動 H26.4.1)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(4月～7月)
	27	「旧三国街道の動物たち」	赤谷森林ふれあい推進センター	「イヌワシの舞う豊かな森を未来へ」	(公財)日本自然保護協会・赤谷プロジェクト猛禽類WG事務局 出島 誠一	地域と繋がる赤谷プロジェクト	民話と紙芝居の家 宮崎 りえ子	・みなかみココイラ2014に参加! ・森の恵みと学びの家プレオープン! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関東森林管理局人事異動 H26.11.1)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(8月～11月)
	28	「自然の造形美!」	赤谷森林ふれあい推進センター	「赤谷の森で増えるニホンジカ」	(株)群馬野生動物事務所代表取締役 春山 明子	地域と繋がる赤谷プロジェクト	上牧温泉辰巳館代表取締役社長 深津 卓也	・遊びにおいでよ!赤谷の森へ:【赤谷の森学校代表 川端 自人 ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(H26.11月～H27.4月)

## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第29号～31号)

番号	表紙: 赤谷の森ミニ写真館		P2: 赤谷の森でわかったこと			P3: 地域と繋がる赤谷プロジェクト		P3: トピックス		
	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	執筆者	所属等	内容	
平成27年度	29	「いのちの輝き」モリアオガエルの産卵他	竹村秀雄他	アンケートからわかる住民の自然利用と「赤谷の森」への期待	地域づくり	茅野恒秀	信州大学	木村 崇利	みなかみ町観光協会	たくみの里にオープン! 「森の恵みと学びの家」
	特集号	「赤谷の森・基本構想2015」の概要								
	30	「赤谷の森の秋」紅葉を纏う滝他	藤澤将志他	カスタネットからはじまる森をいかした地域づくり	地域づくり	出島誠一	日本自然保護協会	小野 宏和	みなかみ町エコパーク推進室	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
31	小出俣の「巨樹・巨木」	赤谷森林ふれあい推進センター	小出俣に「巨樹・巨木観察コース」を作りました!	環境教育	横山隆一	日本自然保護協会 参事	石坂 克之	新治小学校教諭(理科)	たくみの里「森の恵みと学びの家」から	

## 自然環境モニタリング会議及び各WG活動の研究論文・研究発表 等

### <自然環境モニタリング会議>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	官民協働による新しい国有林管理～生物多様性復元と持続的な地域づくりを目指した「赤谷プロジェクト」8年間の成果と今後の課題～ 趣旨説明：「赤谷プロジェクト」国有林管理のための意思決定・官民協働の枠組み	亀山章
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	赤谷の森の植生の現状評価と森林管理への反映	長池卓男
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	イヌワシ・クマタカを指標とした生態系評価と、森林管理への反映	山崎亨
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	哺乳類を指標とした生態系評価	藤田卓

### <植生管理WG>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012	Forest Ecology and Management 283(1):48-55	Interactive influences of distance from seed source and management practices on tree species composition in conifer plantations	Takuo Nagaike, Taku Fujita, Seiichi Dejima, Tsunehide Chino, Seiji Matsuzaki, Yoichiro Takanose, Kazuaki Takahashi
2011	Forest Ecology and Management 262(7):1280-1288	Effects of management, environment and landscape conditions on establishment of hardwood seedlings and saplings in central Japanese coniferous plantations.	Hirata, A., Sakai, T., Takahashi, K., Sato, T., Tanouchi, H., Sugita, H. & Tanaka, H.
2010/3	第121回日本森林学会大会	関東の針葉樹人工造林地における伐採方法が広葉樹天然更新に及ぼす影響	塚田夢人 他
2010/3	東京農工大学修士論文	* 自然林復元試験地（カラマツ林）における伐採実験	塚田夢人
2009/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の種組成に保残帯からの距離と土地利用前歴が及ぼす影響	井上歩

2012/6	現代林業 (552) :38-42	お役に立ちます! 最新研究紹介 冷温帯におけるスギ人工林皆伐後の森林更新 : 埋上種子の樹種構成	酒井武、高橋和規、杉田久志
2011/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
2012/10	第2回関東森林学会大会口頭発表	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
2013/3	第124回日本森林学会大会ポスター発表	カラマツ人工林内において天然更新した広葉樹の更新時期および成長過程	小川智也
2008/3	東京農工大学卒業論文	人工林の伐採跡地の植生回復に関する研究	田中裕 卒論

## &lt;猛禽類WG&gt;

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2008/9	日本鳥学会・自由集会 (9/13)	イヌワシ・クマタカを象徴とした森林生態系の保全管理: 赤谷プロジェクトの紹介と最近の繁殖状況、森林整備との関係	辻村千尋 他

## &lt;ほ乳類WG&gt;

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012/11	群馬県立自然史博物館研究報告 (16) : 131-144	群馬県みなかみ町のコウモリ類	佐々木尚子、三笠暁子、福井 大、吉倉智子、水野昌彦、今井英夫、大沢啓子、大沢夕志、佐藤顕義、野口郊美、本多宣仁、峰下耕、藤田卓、出島誠一
2007/5	日本生態学会九州支部 (地区) 大会	夏緑林におけるテンの食性の地域差-北部九州と関東周辺-	足立高行・荒井秋晴・桑原佳子
1905/6	「水源地生態研究会議 森林生態研究委員会」10周年記念報告	森林環境評価のための指標種としてのテンMartes melampusの役割	荒井秋晴・足立高行・桑原佳子他.

1905/7	SADO環境科学研究所報告	佐渡トキ野生復帰ステーション周辺におけるテン及びホンDOIタチの糞分析による採餌傾向の解析	足立高行・桑原佳子、川上藍・後藤唯
2011/9	日本ほ乳類学会大会	群馬県赤谷地域におけるホンドテンの生息地選択～主要な餌植物の分布との関連性～	星野莉紗、藤田卓、足立高行、金子弥生
2012/3	日本生態学会第59回、大津	The circadian activity pattern of sympatric forest mammals in central Japan	Hoshino, L., Fujita, T., Kaneko, K.
2008/3	東京農工大学卒業論文	野生動物の空間利用における林分構造・景観構造の関係	渡辺晶

< 溪流環境復元WG >

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
2011/3	プロ・ナトゥーラ・ファン ド第16期助成成果報告書	砂防堰堤撤去による溪流植生復元のためのモニタリングおよび回復 評価手法の開発	吉川正人、林雄太
2011/3	日本生態学会第58回全国大 会、札幌	群馬県赤谷川上流域における治山堰堤の設置とその破損が溪畔植生 に与える影響	林雄太、吉川正人、藤田卓
2010/3	日本生態学会第57回全国大 会、東京	治山ダムによって土砂送流が抑制された溪流の植生分布 ～AKAYAプ ロジェクト治山ダム撤去対象地・茂倉沢の事例～	林雄太、吉川正人、藤田卓
1905/7	土木学会誌、第94巻7号、 22-24頁	協働による溪流環境の復元の試み-赤谷プロジェクトにおける新たな 治山事業	茅野恒秀
2012/1	砂防学会誌、第64巻 第5号 (通巻298号)	溪流環境の復元を目的に加えた治山事業の計画と施工：茂倉沢にお ける試み	高橋剛一郎、井口英道
2009/1	日経コンストラクション (1月22日号)	人間ドキュメント タブーに向き合い治山ダムを撤去--防災機能と溪 流環境の両立を目指す推進役に	松浦隆幸
2009/8	現代林業2009年8月号	森と水--森林管理の現場から(第20回)国有林の共同管理と治山ダム 部分撤去--利根川源流・赤谷プロジェクトの挑戦	蔵治光一郎
2011/9	川と湖を見る・知る・探る 陸水学入門 (日本陸水学会 編)	官民一体となった流域管理～赤谷プロジェクトの挑戦とその波及～	藤田卓、朱宮丈晴

&lt;その他&gt;

年月	雑誌／大会／著書 等	タイトル	執筆者／発表者
2008/3	東京農工大学 農学部 卒業論文	働型国有林管理プロジェクトにおける地域づくりの課題と展望～赤谷プロジェクト旧三国街道フットパス網計画を事例として～	南部さやか
2011/3	東京農工大学 農学部 修士論文	官民協働型森林管理における地域環境ガバナンスの実態と課題～赤谷プロジェクトを事例として～	林あかね
2009	環境社会学研究 第15号、25-38頁	プロジェクト・マネジメントと環境社会学：環境社会学は組織者になれるか,再論	茅野恒秀
2009	よくわかる環境社会学	「赤谷プロジェクト」	茅野恒秀
2011	環境社会学	第6章「自然保護問題」	茅野恒秀
2012	法政大学 社会科学部 博士論文	環境問題解決過程における政策課題設定のメカニズムに関する研究～自然保護問題の解決過程と制度変革の検討を通じて～	茅野恒秀
2005	森づくりフォーラム第106号、10-11頁	行政と自然保護NGOとの国有林野『共同管理』 赤谷プロジェクト	茅野恒秀

# 平成27年度 赤谷森林ふれあい推進センターポスター等デザイン ～自然散策～



晴れたらいいね！

赤谷の森自然散策

## ～春のかおりと紙芝居～

開催日：平成27年5月23日(土) 小雨決行！

旧三国街道 AKAYA PROJECT

春のかおりを感じながら、ニリンソウ等の咲き誇る旧三国街道を散策。高低差800mの新潟・群馬県境を越えるコース(※P.25参照)。散策の途中に猿ヶ京温泉に古くから伝わるお話しや紙芝居を楽しみます！

行程：新潟県側登山口9:30→三国権現(峠)→長岡藩士の墓→東屋(東屋⇄三坂茶屋)12:30～昼食&紙芝居鑑賞&お団子バイキング～14:00→群馬県側三坂線入口15:00

1 集合解散所の時間等 (みなかみ町役場から無料バスが出ます！)  
 (1) 集合場所 みなかみ町役場 8:20  
 (2) バス時刻 行き：みなかみ町役場8:30発→三国トンネル群馬県側三坂線駐車場9:30着  
 帰り：三国トンネル群馬県側三坂線駐車場15:00発→みなかみ町役場16:00着  
 ※車で来られる方は「みなかみ町役場駐車場」8:20までに来てください。  
 ※みなかみ町役場の最寄駅は、上越線「後閑駅」です。

2 募集人員 20名 (小中学生は保護者同伴、親子参加歓迎します！)

3 ボランティア・スタッフ募集  
 自然観察の案内や運営に参加してみたい方！ぜひ、ボランティア・スタッフとしてご協力ください。

4 参加費 無料 (資料及びおやつ・飲料水付き)

5 募集締切 平成27年5月15日(金)17時まで

6 注意事項  
 服装は、自然散策ができるような服装(帽子、手袋、登山靴等、雨具等)としてください。小雨決行、荒天時は中止します。昼食、飲み物はご持参ください。(当日の緊急連絡先：090-4967-6830)

7 申し込み方法  
 氏名、年齢、住所、電話番号を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントサイトをご覧ください。(先着順に申し受けます。)

赤谷森林ふれあい推進センター 担当：藤木・松井  
 主催：関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター  
 共催：みなかみ町 観光課

◎問合せ先 群馬県沼田市鍛冶町3923-1  
 赤谷森林ふれあい推進センター 担当：藤木・松井  
 電話 0278(60)1272 FAX 0278(24)5562  
 メール：akaya\_postmaster@rinya.maff.go.jp



赤谷の森自然散策  
旧三国街道

## ～ここで感じる秋の森～

開催日：平成27年10月24日(土) 小雨決行

AKAYA PROJECT

紅葉に染まるブナ・ミズナラの樹木を観察しながら、旧三国街道を散策。高低差600mの群馬県側のコース(初中級登山)。散策の途中、語りや紙芝居で猿ヶ京温泉に古くから伝わるお話しなどを鑑賞します！「時を超えて人と森とのつながりを感じるひととき！」です。

行程：三坂線入口(群馬県側)9:30→東屋(東屋⇄三坂茶屋)→長岡藩士の墓→三国権現12:30【昼食&紙芝居鑑賞(おやつ付き)】14:00→三国トンネル入口(群馬県側)→三坂線入口(群馬県側)15:00

1 集合解散所の時間等 (みなかみ町役場から無料バスが出ます！)  
 (1) 集合場所 みなかみ町役場 8:15  
 (2) バス時刻 行き：みなかみ町役場8:30発→三国トンネル群馬県側三坂線駐車場9:30着  
 帰り：三国トンネル群馬県側三坂線駐車場15:00発→みなかみ町役場16:00着  
 ※車で来られる方は「みなかみ町役場駐車場」へ8:15まで来てください。  
 ※みなかみ町役場の最寄駅は、上越線「後閑駅」です。

2 募集人員 20名 (小中学生は保護者同伴)

3 ボランティア・スタッフ募集  
 自然観察の案内や運営に参加してみたい方！ぜひ、ボランティア・スタッフとしてご協力ください。

4 参加費 無料 (資料及びおやつ付き)

5 募集締切 平成27年10月16日(金)17時まで

6 注意事項  
 服装は、自然散策ができるような服装(帽子、手袋、登山靴等、雨具等)としてください。小雨決行、荒天時は中止します。昼食、飲み物はご持参ください。(当日の緊急連絡先：090-4967-6830)

7 申し込み方法  
 氏名、年齢、住所、電話番号を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントサイトをご覧ください。(先着順に申し受けます。)

赤谷森林ふれあい推進センター 担当：藤木・松井  
 主催：関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター  
 共催：みなかみ町 観光課

◎問合せ先 群馬県沼田市鍛冶町3923-1  
 赤谷森林ふれあい推進センター 担当：藤木・松井  
 電話 0278(60)1272 FAX 0278(24)5562  
 メール：akaya\_postmaster@rinya.maff.go.jp



冬の自然を感じよう！たのしもう!!

「赤谷の森」自然散策

## 開催日：平成28年2月11日(木)祝

AKAYA PROJECT

スノーシューを履いて、雪上でのアニマルトラッキング&冬の観察などを行います。どんば発見があるのか！サファリスを期待しましょう。また、雪だるまを作るもよし！下り坂を滑るもよし！雪と戯れましょう。イベントの最後は、「民話と紙芝居の家」にて、猿ヶ京温泉に古くから伝わるお話しなどを「紙芝居」で鑑賞します。冬を楽しみ自然を感じましょう。

時間 内容  
 9:00～9:30 開会式等 (お泊れる学校さる小)  
 9:30～12:30 冬の自然散策 (いきもの村周辺)  
 12:30～14:00 昼食(豚汁とおやつ付き)、雪遊び ※基本的に自由時間です  
 14:00～14:15 移動～さる小・民話と紙芝居の家(猿ヶ京温泉1150-1)  
 14:15～15:00 民話と紙芝居の家にて、紙芝居鑑賞及び開会式(解散)

1 集合場所 9時集合お泊れる学校 さる小 群馬県利根郡みなかみ町相模1744-1 ☎0278-25-3349  
 ※車で現地まで来れない方は、先着順で10名程度まで無料送迎致します。  
 ○集合 みなかみ町役場(その後開演18:40時出発→9:00(さる小) ○解散 まんてん屋の裏15:15発→15:40着(みなかみ町役場)

2 募集人員 20名 (小中学生は保護者同伴、親子参加歓迎します)

3 ボランティア・スタッフ募集  
 自然観察の案内や運営に参加してみたい方！ぜひ、ボランティア・スタッフとしてご協力ください。

4 参加費 500円 (豚汁・おやつ・スノーシューレンタル付き)  
 ※お弁当が必要な方は、参加費と別に500円で承ります。

5 募集締切 平成28年2月5日(金)17時まで

6 注意事項  
 服装は、自然散策ができるような服装(防寒着、帽子、長靴、雨具等)としてください。雪、小雨決行、荒天時は中止します。昼食、飲み物はご持参ください。(当日の連絡先：090-4967-6830)

7 申し込み方法  
 氏名、年齢、住所、電話番号を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントサイトをご覧ください。(先着順に申し受けます。)

赤谷森林ふれあい推進センター 担当：藤木・松井  
 主催：関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター  
 共催：みなかみ町 観光課

◎問合せ先 群馬県沼田市鍛冶町3923-1  
 赤谷森林ふれあい推進センター 担当：藤木・松井  
 電話 0278(60)1272 FAX 0278(24)5562  
 メール：ks\_akaya\_postmaster@maff.go.jp

~For - e - smile~

**Forest + Smile**  
森 笑顔



**For-e-smile**  
~元気もいもいみ~んな笑顔~

「赤谷プロジェクト」の取組を通じて  
赤谷プロジェクトの取組を通じて私が感じたことと一言で表してみたのが「For-e-smile (フォレスマイル)」です。  
For-e-smileのロゴは、水、土、森、木、葉、地球、そして共に生きるハート(人)とモチーフに作られています。  
森と笑顔をつなげたら、For-e-smile~いい笑顔に向かって~という意味になります。赤谷プロジェクトの取組もみんなが笑顔に向かっていく取組の一つと感じています。  
ブースにお立ち寄りの方さんぜひ、みなさんが感じる森のつながりや、それとばにしたら一言でいってどんなことばになるかを教えてください！ たんりの里「森の恵みと喜びの家」で飾らせていただきます！  
赤谷森林ふれあい推進センター 門長 陽洋 特志




森の中では、一つのいのちがすべてのいのちにつながっていて、まるで、すべてのいのちが一つのいのちであるかのようです。倒れた木でさえも次の「いのち」をつなげていく役割を担って、そうして絶え間なくいのちが過去から未来へとつなげられて、空気や水が絶え間なく私たちに届けられていることを感じた時、私たちはこの世界に生まれた瞬間から、森やそこに生きるすべてのいのちとつながっていることに気が付きます。



引き継がれてきたこの世界を次のいのち~未来~へつなげていくことが私たちが今を生きている意味。そして、今そばにいる家族や、これから出会う人、この先出会うことがない人までも、この世界でみんなつながっている仲間だと知るとき、元気がもりもり湧き出てきて、自然に笑顔になりませんか？



**みなさんのFor-e-smileを教えてください！**  
~元気もいもいみ~んな笑顔~

「赤谷プロジェクト」の取組を通じて  
赤谷プロジェクトの取組を通じて私が感じたことと一言で表してみたのが「For-e-smile (フォレスマイル)」です。  
For-e-smileのロゴは、水、土、森、木、葉、地球、そして共に生きるハート(人)とモチーフに作られています。  
森 (Forest) と笑顔 (Smile) をつなげたら、For-e-smile~いい笑顔に向かって~という意味になります。赤谷プロジェクトの取組もみんなが笑顔に向かっていく取組の一つと感じています。  
ブースにお立ち寄りの方さんぜひ、みなさんが感じる森のつながりや、それとばにしたら一言でいってどんなことばになるかを教えてください！ たんりの里「森の恵みと喜びの家」に飾らせていただきます！  
赤谷森林ふれあい推進センターのHP等で詳しくご紹介します。(氏名を除く)



**<つながるハートの作り方>**

- 好きな色のハートを選びます。
- 森のつながりかたちを書きます(絵でもOK！)。(森のつながりのキッズアトリエ、職業、食べ物、森へのメッセージ、なんでもOK！)
- 名前と学年(小学4年、40代など)と地域を空いたスペースに書きます。
- For-e-smileに貼ってみんなのハートをつなげましょう！

☆ハートをいっしょにつなげましょう！

**【作成例】**



**【展示イメージ】**



## ～各種イベント等～

### サラダパークぬまた ～春の森まつり～

開催日:平成27年5月10日(日)10:00~16:00  
体験無料!



森のかけらストラップ      ヒノキの球果ストラップ




森のかけらを磨いて、木の香りと肌触りを感じてみてね!

森とのつながりを想像しながら、ヒノキの球果をつなげてみてね!

担当: ●●  
場所: サラダパークぬまた(芝生広場内)  
群馬県沼田市上発町1708  
電話: 0278-23-9301

協力: 赤谷森林ふれあい推進センター 担当: 藤木・松井  
群馬県沼田市鍛冶町3923-1  
電話 0278(60)1272 FAX 0278(24)5562

### 上越新幹線上毛高原駅「みなかみ町展示場」!

## 赤谷プロジェクト PRブース・オープン!

展示期間:平成27年5月1日~31日

今年も上毛高原駅に赤谷プロジェクトPRブースを1ヶ月間設置して、赤谷の森でわかったことや取組についての情報等を発信しています。また今回は、みなかみ町全域で登録に向けて取り組まれている人と自然が共生する持続可能な地域づくりと研究教育支援を目的とした「みなかみエコパーク」のコーナーを設けています。ぜひ、お立ち寄りください。



赤谷プロジェクトとは?  
群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる、約1万ヘクタール(10km四方)の国有林「赤谷の森」を対象に、地域住民で組織する「赤谷プロジェクト地域協議会」、林野庁関東森林管理局、(公財)日本自然保護協会の3つの中核団体が協働して、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」を進める取り組みです。  
正式名称は「三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画」といいます。利根川の支流、赤谷川上流域一帯で行われることから、「AKAYA(赤谷)プロジェクト」と呼んでいます。

問合せ先: 林野庁 関東森林管理局  
赤谷森林ふれあい推進センター  
〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町3923-1  
電話: 0278-60-1272 担当: 藤木・松井

### 平成27年度 CoCoira 小鳥のさえずりと野仏めぐり

開催日: 本日 10月2日(金)9:30~12:40  
当日参加もOK!

スケジュール

9:30 ご挨拶  
10:00 バードコールづくり  
10:30 おやつタイム  
11:00 野仏めぐり(お散歩)  
12:30 終わりの会

参加費1,000円で、おやつと飲み物、お土産に手作りカスターネットキットが付いています。

よろしくお祈りします!

主催: 「CoCoira」運営委員会  
協力団体: みなかみ町、みなかみ町商工会、水上温泉旅館協同組合、猿ヶ京やど倶楽部、みなかみ町観光協会

企画: 林野庁赤谷森林ふれあい推進センター  
協力: 赤谷プロジェクト地域協議会、森の恵みと学びの家  
担当: 藤澤・藤木(企画内容のお問い合わせはこちらへ)  
電話: 090-4967-6830

# ～各種取組～

## 赤谷プロジェクトの取り組み



私たちが生きるこの世界は、さまざまないきものが互につながりあうことで成り立っています。私たちが生きるために不可欠な水も酸素も食べ物もこのつながりから生まれています。

今、私たちには、幅広い関係者が協力して、この世界の仕組みを調べて知り、そうして得られた知見をいかし、損なわないように活用していく「人と森とのいい関係」をつくる必要があります。

三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画（赤谷プロジェクト）は、国有林「赤谷の森」10,000haを舞台として、赤谷プロジェクト地域協議会、（公財）日本自然保護協会、林野庁関東森林管理局が3者協働で「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」の実現を目指しています。



## アブラムシを見つけよう！

「アブラムシ」ってどんな生きもの？  
 森では当たり前、森の中では少し  
 目をあげたらたくさんの「いのち」を  
 つなげる大切な役割を担っているんだ  
 よ。身近にいるアブラムシを自然の  
 中で探ってみよう！

（公財）日本自然保護協会  
幸地 彩子さん

■アブラムシはどんなところに  
いるんだろう？（写真①）

- ◇草の上のほう
- ◇新しい葉っぱ
- ◇葉っぱの裏のそば
- ◇ちぢれた葉っぱの内側 など...

ちっちゃいけれど、必ずどこかに  
いるよ、自分でも探してみよう！

■アブラムシは植物の上で何をしているの？（写真②）

こはんを食べているよ。子どももそでうんだよ。  
 でも、夏の暑い時期にはどこかに引っこ退いたり、パートナー  
 を見つけなきゃいけない時期には卵に出たりするよ。

■たくさんアブラムシがいていたら、  
 もしかしたらアブラムシ  
 がいるかも！（写真③）

アブラムシがアブラムシが出す蜜  
 が大好物。蜜が固くて、ア  
 ブラムシのまわりで集まるこ  
 とがあるよ。

■「へんなアブラムシいるかな？（写真④）  
 色がすんでまっくって、カサカサになったアブラムシ...  
 もしかしたらそれは、体の中  
 身を食われちゃった「マミー  
 (ノンビ)アブラムシかも！  
 他にもテントウムシに食べら  
 れたり、他のたくさんの生きも  
 のに食べられながら頑張っ  
 て生きているんだよ。」



## 赤谷プロジェクトサポーター ～チーム企画活動の紹介～

### ホントデンモニタリングチーム

四季折々の土や花や森のかおりに包まれて、季節の移り変わりを身体と心で  
 感じながら、ホントデンの裏から見た「赤谷の森」を見つめよう！

調査せつ → 調査せつ → 調査せつで記録完了！！

雪の上にもあるかも？ 糞を発見！！

ルビ色の宝石？！ わたしが食べたら、 エメラルドグリーンの宝石？！

### 赤谷の森学校

四季の「赤谷の森」を楽しみながら、  
 地域の人との交流を通して赤谷を第  
 二の故郷として親しんでもらいます！

### 雨ヶ谷湿地モニタリングチーム

動植物のモニタリングと保全活動を通  
 じて、「赤谷の森」の魅力や変化を  
 多くの人に伝えます！



## 始めよう！ホントデンモニタリング ～どうしてホントデンなの？～

森林の環境を調べて、森林がどう  
 いう状態なのかを知ることはとて  
 も難しいことなんだよ。

ほくたちは、頭から  
 お尻まで500ml  
 のペットボトルで2  
 本分くらい大きさ  
 だよ。

ほくたちは、くらしのほとんどを森で過ごして、  
 昆虫やツワガニ、カエル、鳥、ネズミ、そして  
 植物の実なんでも食べるから、フンを調べる  
 ことで森の様子を知ることができるよ。

ほくたちは、日本全国の森でくらし  
 ているので、他の森との比較もできるから  
 調査の対象に選ばれたんだ。

ほくたちは、森でくらすほくたちのこ  
 とを調べることで、森林の状態を  
 知る方法が考えられたんだ。

作成：赤谷プロジェクトサポーターホントデンモニタリングチーム  
 協力：林野庁関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター

